

ゴミステーションで発生する問題とその改善策

～理想的なゴミ回収方法の観点から～

伴藤克海

2017年5月1日に、埼玉県北本市内の団地でカラス20羽の死亡が確認された。カラスの死骸の周辺から、毒物が含まれたパンが発見された。筆者は、この事件の原因がカラスのゴミステーション荒らしの激化であると考えたため、なぜカラスがゴミステーションからゴミを漁るのか調査を行った。調査の結果、カラスの行動よりも荒らされるような劣悪の環境のゴミステーションの方に原因があった。カラス被害に合うゴミステーションの傾向として、杜撰な分別や不法投棄が行われていることが挙げられる。

そこで本論文では、ゴミステーションを中心に適切なゴミの投棄及びその回収方法を模索し、問題が発生しない理想的なゴミステーションについての考察を試みた。日本全国のゴミ回収方法とその傾向を集計し、現在行われているゴミ回収の方法から理想的なゴミステーションを考察した。また実際にゴミ回収体験を行い、ゴミ回収者の立場になって考え、ゴミステーションの利用者だけでなく、回収者にとっても理想的とされる方法を模索した。

ゴミステーションは、同じものを多様な人々が利用するため、問題やトラブルが発生しやすいが、そこに意義のある工夫を加えることで、その発生の可能性を最小限に抑え、誰もが利用しやすいと感じるゴミステーションの実現となるだろう。